

西大和つうしん

2019年2月号

No.440



明神山より拝む初日の出《2019.1.1.》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第440号 (2019年2月号)

【目次】

| | |
|----------------------------------|---|
| 2・3月度山行計画 | 1 |
| 2・3月度カレンダー | 2 |
| 山行・行事等参加メモ | 3 |
| 山行報告 | |
| ・例会山行2 《12/16》 鈴鹿山脈 御在所岳(岩田) | 4 |
| ・初日の出山行 《1/ 1》 王寺の山 明神山(都築) | 5 |
| ・例会山行1 《1/ 6》 丹生山系 帝釈山～稚子ヶ墓山(永井) | 5 |
| 第4回運営委員会議事録(12/23) | 6 |
| 室内例会だより(12/23) | 7 |
| 第5回運営委員会議事録(1/19) | 8 |

2 月 度 山 行 計 画

～信仰の山を登る 保津峡の溪谷美も～

例会山行1 北摂山系 《愛宕山 924m》

【日 程】2月3日(日) (L永井)

【集 合】JR 王寺駅 6:30 (6:40 発 大阪行に乗車)

【交 通】王寺 6:40⇒7:19 大阪/阪急梅田 7:30⇒(阪急京都線)⇒8:05 桂 8:18⇒8:25 嵐山 8:42⇒(京都バス)⇒8:56 清滝

(復) 保津峡 15:28⇒(JR 嵯峨野線)⇒15:49 京都 16:03⇒16:49 奈良 16:54⇒17:10 王寺

【コース】清滝バス停(二の鳥居)～(70)～五合目小屋～(40)～水尾分かれ～(30)～黒門～(10)～愛宕神社・山頂～(40)～水尾分かれ～(40)～水尾の里～(40)～JR 保津峡

※ 歩行時間：約 5 時間

～久しぶりに耐寒訓練として、金剛山へ！！～

例会山行2 金剛山地 《金剛山 1,125m》

【日 程】2月24日(日) (L島崎)

【集 合】上牧駐車場 7:30 発

【コース】葛城登山口～(1h40)～太尾塞跡～(40)～社務所～(30)～セト～(1h10)～葛城登山口

※ 歩行時間：約 6 時間

3 月 度 山 行 計 画

～フクジュソウやセツブンソウの咲く花の名山へ～

例会山行1 鈴鹿山脈 《藤原岳 1,140m》

【日 程】3月10日(日) (L勝尾)

【集 合】上牧役場前駐車場 6:30 出発

【コース】駐車場～(30)～聖宝寺～(聖宝寺道/2h30)～藤原山荘～(15)～藤原岳～(20)～藤原山荘～(大海戸道/2h)～駐車場

※ 歩行時間：約 5 時間 30 分 帰宅時間：18:00 頃

西大和山の会 カレンダー

| 2 月 | | | 3 月 | | |
|-----|---|----------------|-----|---|--------------------|
| 1 | 金 | | 1 | 金 | |
| 2 | 土 | | 2 | 土 | |
| 3 | 日 | 例会山行1《愛宕山》(永井) | 3 | 日 | 県連定期総会 |
| 4 | 月 | | 4 | 月 | |
| 5 | 火 | 県連理事会 | 5 | 火 | 県連理事会 |
| 6 | 水 | | 6 | 水 | |
| 7 | 木 | | 7 | 木 | |
| 8 | 金 | | 8 | 金 | |
| 9 | 土 | | 9 | 土 | |
| 10 | 日 | | 10 | 日 | 例会山行1《藤原岳》(勝尾) |
| 11 | 月 | | 11 | 月 | |
| 12 | 火 | | 12 | 火 | |
| 13 | 水 | | 13 | 水 | |
| 14 | 木 | | 14 | 木 | |
| 15 | 金 | | 15 | 金 | |
| 16 | 土 | | 16 | 土 | |
| 17 | 日 | | 17 | 日 | 例会山行2《感状山～三濃山》(島崎) |
| 18 | 月 | | 18 | 月 | |
| 19 | 火 | | 19 | 火 | |
| 20 | 水 | 西大和つうしん原稿締切 | 20 | 水 | |
| 21 | 木 | | 21 | 木 | |
| 22 | 金 | | 22 | 金 | |
| 23 | 土 | | 23 | 土 | 西大和つうしん原稿締切 |
| 24 | 日 | 例会山行2《金剛山》(島崎) | 24 | 日 | |
| 25 | 月 | | 25 | 月 | |
| 26 | 火 | | 26 | 火 | |
| 27 | 水 | 2月度室内例会 | 27 | 水 | |
| 28 | 木 | | 28 | 木 | |
| | | | 29 | 金 | |
| | | | 30 | 土 | 3月度室内例会、定期総会 |
| | | | 31 | 日 | |

山行・行事等参加メモ

| No | 氏名 (入会順) | 1/30 | 2/3 例会1 | 2/24 例会2 | 3/10 例会1 | | | |
|----|-------------|----------|------------|-------------|-------------|--|--|--|
| | | 室内 例会 | 愛宕山 | 金剛山 | 藤原岳 | | | |
| 1 | (窪田) | | | | | | | |
| 2 | 都築 | | | | | | | |
| 3 | 藤井 | | | | | | | |
| 4 | (石田) | | | | | | | |
| 5 | 島崎 | | | LO | | | | |
| 6 | 村田 | | | | | | | |
| 7 | 林 | | | | | | | |
| 8 | 勝尾 | | | | LO | | | |
| 9 | 藤本 | | | | | | | |
| 10 | 杉村 | | | | | | | |
| 11 | 高橋 | | | | | | | |
| 12 | 橋本 | | | | | | | |
| 13 | 亀高 | | | | | | | |
| 14 | 船江 | | | | | | | |
| 15 | 野路 | | | | | | | |
| 16 | 中 | | | | | | | |
| 17 | 杉森 | | | | | | | |
| 18 | 上田 | | | | | | | |
| 19 | 永井 | | LO | | | | | |
| 20 | 川田 | | | | | | | |
| 21 | 岩田 | | | | | | | |
| 22 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 合計 | | | | | | | |
| | 緊急 連絡先 | | | | | | | |

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

例会山行2

鈴鹿山脈 御在所岳 1,212m

【日程】12月16日(日) 晴れのち曇り

【参加者】L 杉森・SL 島崎・藤井・林・杉村・橋本・亀高・船江・中・岩田(10名)

【コースタイム】RW 駅前(8:18)～裏道 1 合目(8:22)～藤内小屋(9:20/28)～国見峠(10:58/11:28 昼食)～裏道 9 合目(11:48)～アゼリア跡(11:54/12:03)～鷹見岩(12:35)～スカイライン(13:48)～一ノ谷 登山口(14:00)～裏道 1 合目(14:23)～RW 駅前(14:28)

一年で一番日の短いこの時期、上牧駐車場に着いた時は真っ暗でした。鈴鹿スカイラインが通行止めの為、急遽予定を変更して御在所岳を目指します。歩いて間もなく、ガサッと音がして何とニホンカモシカに出会うことができました。こんなに近くで見たのは初めてです。それから、ガレ場を登って行きます。下の車道から薄っすら雪が見えたものの、この数日の寒さで積もったようです。登るにつれて少しずつ量が増えてゆきました。途中少し凍っているところもありましたが慎重に行きます。突き出た岩に白い帽子をかぶったようで美しい。国見峠までたどりつき、風もなく早めの昼食をすませました。途中伊勢湾、四日市市街を望むこ



とができ気持ちがよく、水辺の所には長いツララも見えました。アイゼンなしで九合目までたどり着き、木に樹氷？ えびのしっぽ？ 思わず感激、下界とは別世界を物語っています。ロープウェイは調整中で運行中止のため、人影もまばらでした。

一ノ谷新道は尾根道のためか雪は解け、つけたアイゼンをはずして木の根を頼りに下ります。六月にも同じ道を登りましたが、登りと下りでは全く別物と感ずります。鷹見岩を過ぎ、更に激下りが続き、途中イワカガミ群生の葉が光っています。春はかわいく咲くのだろうな、そんな余裕も束の間どんどん下ります。松茸岩を経て車道に出たときはホッとしました。30分ほど歩いてロープウェイ駐車場に着きました。思ったより早く下ること

ができ、予報では雨予報もあったので安堵しました。二度目の御在所岳でしたが、思いのほか雪や風もなく穏やかで、ドキドキしたものの楽しい山行となりました。

入会して九か月、鈴鹿の山は厳しいよと先輩諸氏のお言葉、経験の浅い私にとり、リーダーについていくのが精一杯でした。又、歩く時は足の裏を見せてはだめとか、雪の上は大きく逆ハの字に歩くとか、ストックの使い方やアイゼンの付け方を教えて頂き、勉強になること多いです。時には話をしながら、時には転びながら進み、また今まで見たことのない美しい自然の花々、凄まじい岩々に出会うことができました。厳しい道のりで決して楽ではない、でも登頂の喜びと下りた時の



達成感は何物にも代えがたいものと感じます。まるで自分が中高年ということ忘れて、若い頃に帰ったような気持ちになります(あり得ませんが)。今後、自分の身体と相談しながら研鑽を重ねて楽しみたいと思って家路につきました。(記: 岩田礼子)

【反省点】

雨乞岳の山行予定だったが、鈴鹿スカイラインの冬季閉鎖のため御在所岳に変更した。冬期は12月中旬から4月上旬にかけて閉鎖されることを、事前に把握しておくべきであった。

(記: 杉森英二)

初日の出山行 王寺周辺の山 明神山

【日 程】2019年1月1日(火) 晴れ

【参加者】L 都築・SL 島崎・杉森・岩田(4名)

【ｺｰｽﾀｲﾑ】明神の鳥居前(6:30)～明神山頂(7:00/25)【ご来光/合掌(7:12)】～明神の鳥居前(7:55)

今年は、昨年に比べて寒く自宅を出る時に車のフロントガラスが凍っていましたが、明神の鳥居前に来てみると駐車している車がいっぱい今年も多くの人々が来られていました。鳥居前には、島崎さんと今回初参加の岩田さんがすでに来られていて、杉森さんが来られたので、予定どおり6時30分に4人で頂上に向かいました。今回は、元日は晴れの天気予報となっていたので期待して登って行きました。頂上に到着して、祠に4人で今年の西大和山の会が安全に登山出来ますようにとお願いいたしました。



7時12分ごろ、今年は、雲もなく眩しい位のご来光を拝むことが出来ました。しばらくご来光を眺めた後、杉森さんが持ってきてくださったお酒をいただいて、みんなで乾杯をした後下山しました。

今年も、西大和山の会のすべての山行について安全に登山出来るようにしっかりご来光を拝んでお願いすることができました。当会は会員が高齢化傾向になってきており、ますます安全に山に登ることが重要になってきています。そのことから来年以降も安全登山を祈願していきたいと思っていますので、会員のみなさんの積極的なご参加をお願いいたします。

(記: 都築周作)

例会山行1 丹生山系 帝釈山～稚子ヶ墓山 596.8m

【日 程】1月6日(日) 曇り

【参加者】L 島崎・SL 藤井・杉村・亀高・船江・野路・杉森・永井・岩田(9名)

【ｺｰｽﾀｲﾑ】丹生神社前(9:52)～丹生山(11:10)～帝釈山(11:50/13:06)～稚子ヶ墓山(14:40)～車道(15:50)～箕谷(16:45)

新春山行である。二時間強、電車・バスを乗り継いでやってきたのは、丹生山系であった。訪れる人は少なく、丹生神社前で降りたのは我々だけだった。曇り空で空気が冷たく、周りは里山風景である。

番丁を刻んだ標石が整備された参道を登ると、丹生山の頂上に丹生神社がある。立派な鳥居と社務所があるが誰もいない。正月には初詣客で賑わったのだろうか。記念写真を撮って次の帝釈山へと縦走路に向かう。

帝釈山に着くと展望が開けている。淡路島と明石海峡大橋が遠望できる。明石海峡大橋は世界一の吊橋だが、ここから見ると短く見える。ちょうど12時になったので、昼食になる。粉雪が舞い空気がさらに冷たく感じる。ホットワインで今年一年の安全を祈願して乾杯をした。豚汁、手作りケーキ、おせち、おつまみが並び、ワイン、日本酒・・・と、にわか宴席になり話が弾む。一時間程続いた昼食タイムを終え、少々ほろ酔い気味だが最後の一座の稚子ヶ墓山へ向かう。



稚子ヶ墓山には伝説がある。信長の命を受けた秀吉が、播磨平定のため丹生山全山を焼き払った。その時に犠牲となった稚児達の墓を建てたのが山名の由来といわれている。山頂は狭く展望がないが、墓山伝説の説明板と植えられた樁があった。

下山は予定コースを避けショートカットすることになったが、途中で道がなくなり石と枯葉の悪路を進む。ほろ酔い気分も冷め、ただひたすら谷筋を下る。やっと車道が見えるところに来たが、水路に阻まれ道に出ることができない。脱出口を探すのに手間取った。車道に出ても駅までの道のりは遠く疲れた。

年末年始の鈍った体を、寒さと初登山で引き締め、平成最後の年の幕開けとなった。

(記:永井章夫)

第4回 運営委員会議事録

【日 時】2018年12月23日(日)13:00~14:40 事務所

【出席者】島崎・林・亀高・藤井・中・田中(悦)・都築(記録)

県連より

県連救助隊をなくす件については、各会が再確認して1月8日の県連理事会にて各会が報告をすることになっている。そうなれば、各会で遭難者や行方不明者等が出た場合には、県連としての対応はされなくなり、各会で対応することになる。

当会としては既に先月の室内例会で、救助隊が行う広域捜索訓練に持ち回り開催の協力はできないことを確認している。遭難者対応を各会が行うことになった場合、西大和山の会 山行規定第13条「奈良県連から遭難者の救助依頼等の要請があった場合、できるだけ協力する」と、細則3 西大和山の会緊急対策規定第4条第4項「県連への協力の要請は本部長より、理事長もしくは執行部に連絡を行う」を削除する必要がある。

運営委員会案件

1. 例会山行1・2の内容確認及び月回数について

例会山行1・2の内容については、今期の活動方針に明記してあるので確認をした。

回数については、4月、5月、6月、9月、10月、11月は、例会山行を月3回行う。

2. 来年度の例会山行時のリーダーの選出方法について
 今期は申告制だったが、来期は入会して3年以降の会員に最低1回はリーダーになってもらう。
 来期の例会山行計画予定は、山行管理者の田中（悦）さんが担当する。
 （クリーンハイクは6月最初の日曜日《6月2日》）
3. テント泊について
 時期は、10月26日（土）～27日（日）とする。
 オートキャンプの様にみんなが参加しやすい低山とし、新入会員にテント泊を体験してもらう。
 （例：蒜山、氷ノ山等）
4. 来年度の夏山山行（自主山行）について
 来期は希望する行き先のアンケートは行わず、各リーダーが決めた計画を申告してもらう。
5. 公開山行について
 来期の公開山行は11月のみとする。（11月10日《日》）
 （来期の県連交流山行は西大和山の会が担当し、時期は10月20日《日》とする。）
6. 総会に向けて、予定等
 会計処理を3月末とするためには、西大和山の会 会則第10条2項「本会の会計年度は、3月1日から翌年2月末までとし、会計報告は定期総会の都度行い、総会の承認を必要とする。」の改正を総会にかける必要がある。また、細則5として、会計規則を新たに設けることを総会で報告することとする。野路さんが担当する。
 総会資料の取りまとめは、事務局（都築）が担当する。
7. その他
 次回運営委員会は、1月19日（土）午後1時30分より 事務所（窪田宅）

以上

室内例会だより

【日 時】2018年12月23日（日）15:00～16:15 事務所

【出席者】藤井、島崎、村田、林、勝尾、杉村、高橋、橋本、亀高、中、岩田、都築(記録)

1. 山行計画

- 1月 6日(日) 例会山行 1 丹生山系《帝釈山 586m～稚子ヶ墓山 596m》……………L 島崎
- 1月 27日(日) 例会山行 2 台高山脈《三峰山》1,235.4m……………L 林
- 2月 3日(日) 例会山行 1 北摂山系《愛宕山》924m……………L 永井

2. 山行報告

- 11月 25日(日) 例会山行 2 大峰山系《稲村ヶ岳・大日山》L 野路……………6名
- 12月 2日(日) 例会山行 1 北摂山系《中山連山》L 船江……………10名

3. 連絡その他

★県連より

- ・女性委員会主催「山筋ゴーゴー体操講習会」2019年1月26日（土）13:30～15:30、大和郡山市民交流館。参加申込み締め切りは、1月15日（火）までに藤井さんまでお願いします。（男性会員の参加もOKです。）

・救助隊のあり方について

救助隊そのものをなくすという意見が出ており、1月の県連理事会で各会の意見を確認することになっている。その場合、今後各会で遭難者が出た場合、県連として捜索することはできず、各会で対応することになる。

★本会より

- ・県連より今後、救命救急法の講習については、各会で持ち回りしてはどうかという意見が出ており検討することになった。しかし、ハイカーのための搬出講習会については県連の手助けが必要であるし、広域捜索については本会主催での実施は難しい。
- ・2月24日（日）の例会山行2（L島崎）については、行き先を高見山から金剛山に変更する。
- ・夏山山行（自主山行）については、リーダーになって頂く方に早めに山行計画書を出してもらう。
- ・1月19日（土）午後1時30分より運営委員会を開催。

第5回 運営委員会議事録

【日 時】2019年1月19日（日）13:30～16:00 事務所

【出席者】島崎・林・藤井・都築・中・野路・亀高（記録）

運営委員会案件

1. 会則及び細則の改定について

会則及び細則の2018年版からの変更点について検討し、以下の修正を加えた。

①会則

- ・運営委員会が成立する要件と集会による開催の他に会長が承認した場合にメールでの議決を可能とする改定を行った（6月の運営委員会での決定事項）。
- ・会計年度が現行の3月～翌年2月末と規定されているが、会費の収集などの運用は4月～翌年3月末で運用されているため、実態に合わせて第10条を修正した。
- ・県連関係の行事等への派遣費を原則として500円とすることを附則第4条に規定した。

②細則3. 西大和山の会 緊急対策規定

- ・県連救助隊が廃止となることに伴い、第4条第4項を削除するとともに第3項及び第5項を一部修正した。

③細則4. 西大和山の会 特別基金運用規定

- ・特別基金を他用途に使用できる場合を特定するとともに、他用途に使用したために特別基金が積立停止金額を下回った場合、積立の再開によって補填する旨を第7条に規定した。
- ・一般会計に一時的な不足金が出た時には、特別基金を本会に貸し付けることができること、その際の返済は一般会計から行うことを第8条、第9条に規定した。
- ・第5条に規定した積立停止の金額を100万円とすることを附則第4条に規定した。

④細則5. 会計規定の新設

- ・必要最小限の事項を規定した「細則5. 会計規定」を新設した。
- ・会計監査は前任の会計が担当する旨を第5条に規定した。

2. 来年度以降のHPの管理運営について

- ・HPの管理運営を一手に引き受けて戴いていた藤本さんが、3月をもって退会を表明されたことにより、来年度のHPの管理運営をどうするのが喫緊の課題となった。
- ・HPは現時点での新入会員獲得の最大のツールともなっており、HPを閉鎖・廃止するという選択肢は否決され、HP継続は必須という結論となった。

- ・HP 編集者・管理者の世代交代は以前からの課題で、昨年度は2名の会員にHP 編集者の養成を始めたが、当該会員2名の休会・退会により白紙に戻った状況である。
- ・従って、比較的若いメンバーにHP 担当を打診し、会報部長（亀高）と共に、藤本さんからHP 編集者としての研修を受け、引き続きHP 管理者としてのスキルを身に付け、可能な限り早く立ち立つ方向に持って行く。
- ・藤本さんには、3月に退会された後も引き続いて以下の業務をお願いせざるを得ない状況である。
 - HP サーバーの変更に伴う移行作業（現委託先のサービス終了のため）
 - HP 編集ソフトの選定・購入（所有ソフトが新OSに対応していないため）
 - 新HP 担当者に対するHP 編集者・HP 管理者としての養成
 - HP 管理者が立ち立つまでのHP の管理（HP 情報のアップロード・更新）

3. 来年度の山行計画について

- ・田中悦男さんの退会に伴い、野路さんが山行管理者を引き継がれることが全会一致で承認された。
- ・来年度の山行計画については、田中さんの作成された計画を野路さんが再調整され、リーダーの皆さんに配信し、月末までに連絡いただくことにする。
- ・各月の山行を例会1、例会2、例会3とし、例会1については「会員の親睦を目的とし、比較的歩行時間が短く、体力や年齢を問わず会員誰もが参加可能な山」を選定すること、例会2、3についてはそのような条件を設けないことを確認した。

4. 総会に向けた準備

①総会の日程

- ・日程変更

総会予定は3月31日（日）であったが、3月30日（土）に変更する。

総会 13:00、室内例会 15:00、懇親会 16:40

②運営委員会の日程と準備

- ・次回の運営委員会は2月23日（土）13:30～（事務所）とする。
- ・各運営委員は、1週間前の2月16日までに各担当部分について2018年度の活動報告及び2019年度の活動方針を作成し、委員全員に送信すること。なお、全般の今期活動報告は事務局、来期活動方針案は会長が作成する。

③総会議案書（案）の作成と配布

- ・総会に諮る総会議案書（案）の編集は、会報部長（亀高）が担当する。
- ・今総会から議案書（案）はPDFによる配信とし、各会員が自分で印刷して総会に持参いただく。

5. その他

①新入会員の獲得について

- ・最近の新会員はHP を通じた入会が多く、HP 継続が最重要であることは「2.」に記載した通り。
- ・一方、公開山行については会員への負担や新入会実績等から来年度も秋の一回のみの予定である。
- ・HP と公開山行の間を埋める方法として、例会山行1（親睦目的で体力や年齢を問わず参加可能な山行を活用する。
- ・HP を見て連絡してきた人に未入会でも例会山行1に参加出来る道を検討する。
- ・会員の皆さんが参加している同好会等でハイキングや登山に興味ある人に積極的に声掛けして、誘っていただく。

②県連総会の代議員選出について

- ・県連総会の代議員は原則会員番号順で担当しており、去年は橋本さんだったので、今年は亀高が出席する。
- ・3月3日（土）13:00～ 大和郡山市市民交流館3階

③3月17日の例会山行2（感状山～三濃山）のリーダーについて

- ・田中悦男さんの退会に伴い、標記山行のリーダーは島崎さんに変更する。

以上

西大和つうしん

第 440 号 (2019 年 2 月号)

2019 年 1 月 30 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

[http : //www.nishiyamatoyama.info/](http://www.nishiyamatoyama.info/)